

観光列車の概要について

平成 30 年 6 月 14 日
あいの風とやま鉄道(株)

1 趣旨・コンセプト等

(1) 趣旨

観光列車を導入することにより、新たに県内外からの観光需要を取り込んで利用を促進するとともに、富山県の観光を含めた地域振興に寄与するもの

(2) コンセプト

海越しの立山連峰から世界で最も美しい富山湾まで。高低差 4,000m がテーマのダイニング列車

2 ネーミング

「一万三千尺物語」(英語名:「The Story of 13000 feet」)

趣意: 標高 3,000m の立山連峰から深さ 1,000m に至る富山湾の高低差 4,000m を尺で表現(4,000m=13,000 尺)。また、日本アルプスを歌った「アルプス一万尺」とかけている。

3 列車デザイン

朝焼けの立山連峰と富山湾をイメージ(別紙のとおり)

4 ターゲット層

メイン: 中高年(50~60代)の夫婦などのシニア層

サブ: 若い女性(20~30代)のグループ

5 整備概要

- ・ 1号車、3号車を客室車両、2号車を厨房車両として改造
- ・ 内装に「ひみ里山杉」を使用
- ・ ウォッシュレットタイプのトイレを設置
- ・ 客室車両の窓(山側)の大型化(一部)
- ・ 無料Wi-Fiサービスの提供 など

6 運行概要(現段階の案)

(1) 運行ルート

当社線区間内を1日当たり2本運行(富山発着)

① 富山駅→泊駅(折り返し)→富山駅

② 富山駅→高岡駅(折り返し)→黒部駅(折り返し)→富山駅

※ 途中休憩等のため、①は魚津駅、②は小杉駅に停車

(2) 年間運行日数

125日程度

※ 土、日、祝日、夏休み等(ただし、年末年始及び冬期間(1月下旬~2月上旬)を除く)

(3) 客席数

50席

(4) 食事・サービス等

県産食材を活用した料理の提供(富山湾鮭を主体としたもの、和風創作料理をベースとしたもの)

立山連峰や富山湾など本県観光PRやおもてなしサービス(ガイドによる説明等)

県産品の展示・販売

富山ならではの土産品の配付 など

(5) 料金

検討中

7 今後のスケジュール

(平成30年4月上旬)~12月中旬 改造工事

平成30年12月 ダイヤ概要、料理概要等発表(利用促進協議会)

平成31年春 運行開始予定(富山駅下り高架化完了後)

<車両外装イメージ>



※外装デザインはイメージです。

標高3000mの立山連峰の美しい稜線と、深海1000mの富山湾を車体全体で表現しています。オレンジ色の朝日によって色づく立山と富山湾をイメージし、この列車に乗っていただく方々に高低差が生み出す富山の自然の恵みと雄大さを存分に感じていただけるように、という願いが込められています。

<車両内装イメージ>

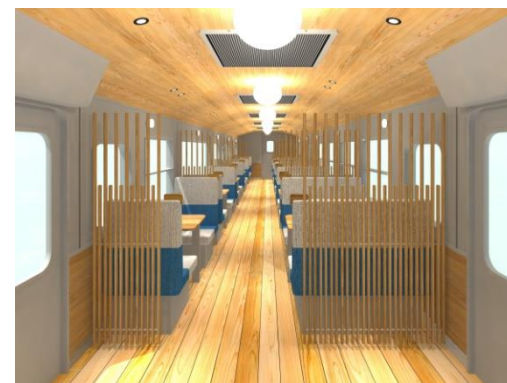
1号車 カウンター席+ボックス席



2号車 カウンター



3号車 ボックス席



※内装デザインはイメージです。

旧国鉄車両413系の歴史的情緒と、富山独特の自然的風雅を調和させたデザイン。

歴史や自然のぬくもりを感じながら、ゆったりと食事・車窓を楽しんでいただけます。

天井、テーブル等に富山県産の「ひみ里山杉」を使用し、「木」と調和した落ち着いた空間に富山湾を意識した「青」をアクセントとして使用します。

1号車・3号車は客席車両で、山側には立山連峰を一望できる大型窓などを設置します。

2号車は地酒などのドリンク提供やお土産販売等に対応したカウンターを設け、快適な列車の旅をサポートします。

<イメージ写真>

